

総合特別区域評価・調査検討会において指定対象として推薦する申請(a)

(地域活性化総合特区)

区分	受付番号	名称	提出自治体	(a)とした理由
地域	3	競争力と持続力を持つ交流6次化モデルの構築特区	山梨県南アルプス市	6次産業化の推進に当たり農業主体が地域の関係者と一体となって取り組むことは意義があり、高品質なフルーツとその加工品の製品化の魅力や農村空間としての強みを活かせば新しいモデルとなり得る。
地域	4	みえライフイノベーション総合特区	三重県	総合データベースの作成は今後の可能性を切り開くものであり、また、大学を核として、県内医療機関のネットワークが構築されており、全国モデルとなり得る。
地域	5	鳥取発次世代社会モデル創造特区	鳥取県	地方の主要課題について、県を中心に取り組むものであり、モデル性が高い取組みである。実施体制や独自の評価方法(「幸せの感じ方指標」)も具体的であることが評価できる。
地域	6	先導的な地域医療の活性化(ライフイノベーション)総合特区	徳島県	研究成果をあげてきた国立大と、地域医療に成果を挙げてきた県が連携を深め、糖尿病ワースト地域で疾患対策に取り組むという戦略が特化されており、評価できる。
地域	7	中心市街地と田園地域が連携する高松コンパクト・エコシティ特区	香川県高松市、高松丸亀町まちづくり株式会社、高松丸亀町商店街振興組合、特定非営利活動法人 農幸生活	定期借地権を活用した中心市街地再開発に係る意欲的な取組であり、既に実績のあるまちづくりの担い手を巻き込んで、現実に合った合理的な手法で推進の戦略を立てている点も評価できる。
地域	9	樺による五島列島活性化特区	長崎県五島市、新上五島町、長崎県	地域資源である樺を多面的に商品化することで活用し、文化面も含めて継続的に地域振興に寄与する取組であり、評価できる。

総合特別区域評価・調査検討会において指定対象として推薦しない申請(b)

(国際戦略総合特区)

区分	受付番号	名称	提出自治体	(b)とした理由
国際	1	コンテンツ産業国際戦略総合特区	京都府、京都市	映画などのメディア産業の活性化、クロスメディアによるクリエイターの育成等は「地域産業の活性化」を超えていないと考えられ、国際戦略総合特区の観点から他地域と比較して優位性があるのか疑問である。産業の集積において、ロジスティックス、周辺地域との協力体制などにも更なる工夫が必要であると考えられる。

(地域活性化総合特区)

区分	受付番号	名称	提出自治体	(b)とした理由
地域	8	高知県新エネルギー関連産業育成総合特区	高知県	電力需要の見通しが弱いこと、また、目標とするところが産業振興なのか地域づくりかが不透明でありゴールが見えにくく、実現可能性が高いとは言えず、提案内容の精度を上げるため、更なる検討が必要と考えられる。